

No.	項目	平均値
<b>I 保育の計画性</b>		<b>3.4</b>
1	園の教育理念・教育方針の理解	3.0
2	幼稚園教育要領の理解	3.1
3	教育課程の編成	3.2
4	指導計画の作成	3.5
5	環境の構成	3.7
6	保育と計画の評価・反省	3.7
<b>II 保育の在り方、幼児への対応</b>		<b>3.9</b>
1	健康と安全への配慮	4.4
2	幼児のみとりと理解	4.1
3	指導とかかわり	4.0
4	保育者同士の協力・連携	3.0
<b>III 教師としての資質や能力・良識・適性</b>		<b>4.1</b>
1	専門家としての能力・良識・義務	3.9
2	組織の一員としての在り方	3.9
3	保育の楽しみ・喜び	4.6
4	まわりを感じ取れる感性・アンテナ	4.1
<b>IV 保護者への対応</b>		<b>4.3</b>
1	情報の発信と受信	3.7
2	協力と支援	4.1
3	守秘義務の遵守	4.8
4	対応上のマナー・良識	4.3
5	クレーム対応の仕方	4.4
<b>V 地域の自然や社会とのかかわり</b>		<b>3.2</b>
1	地域の自然・人々とのかかわり	3.2
2	小学校との連携	3.3
3	地域への開放と支援	3.0
<b>VI 研修と研究への意欲・態度</b>		<b>3.5</b>
1	研修・研究への意欲	3.5
2	教師としての専門性に関する研修・研究	3.2
3	遊具・教材に対する研修・研究	3.7
4	園内の環境に関する研修・研究	3.0
5	今日的課題に関する研修・研究	3.3
6	自らを高めるための学習	4.2

全平均 3.7

今回の自己評価の結果より見出せる当園の特色および今後の課題は次のとおりである。

職員が最も高い評価を示したのが、「IV 保護者への対応」であり、中でも特に守秘義務の厳守についてはほぼ全員が自覚しており、クレームの対応や対応上のマナー、良識も意識が高く、保護者との協力体制も整っているといえる。

次に平均値が高かったのが「III 教師としての資質や能力・良識・適性」であり、自らの健康への配慮や保育をする上での安全性にも常に気を配っていると同時に、保育の楽しみ・喜びを感じ取っている。

さらに子どもと保護者の顔や名前を覚えることは当然のことながら。その他職務上の義務をよく果たしているといえる。

続いての平均値は、「II 保育の在り方、幼児への対応」で、園児の健康と安全への配慮や園児の話をよく聞き、一人ひとりの個性を理解しありのままの姿を受けとめて共感する姿が認められる。

次の項目は、「VI 研修と研究」で自らを高めるための学習は日々怠っていないものの、園として実施すべき園内の環境に関する研修・研究が不足していると思われ、今後の課題である。

特に今年度は、職員の見識と技量を高めるために、応急処置を含む医療に関する研修、園児への陶芸指導法、リズム発表会のための指揮法、食育に関する研修等、幅広い分野で園内にて実施した。

全項目の平均を下回るのが、「I 保育の計画性」であるが、環境の構成では常に園児の安全と主体性に配慮をし、保育と計画の評価・反省も園内研究会等を通して自分の保育を他の教員に見てもらい、それをもとに自省・検討している。

ただ、重要なポイントである園の教育理念や教育方針の理解や共感度が低いのは残念なことで、今後設置者をはじめ園長等がその浸透に努めなければならない。

最も平均値が低かったのは、「V 地域の自然や社会とのかかわり」で、今後は地域の自然や機関を指導計画の中に位置づけて活用する、小学校との連携を深める、地域への開放や子育て支援等への施策を考慮していきたい。

草津幼稚園